



平成28年1月28日
第五管区海上保安本部

「海が泣いている！海洋汚染増加」

「平成27年における海洋汚染の現状（速報）」について

平成27年における第五管区海上保安本部管内における海洋汚染の発生確認件数は64件で、平成26年の42件から22件増加しました。

内訳は、

・ 船舶からの排出	34件	（昨年比7件増）
・ 陸上からの排出	5件	（同3件増）
・ 航空機からの排出	2件	（同2件増）
・ 赤潮	2件	（同2件増）
・ その他	4件	（同4件増）
・ 不明	17件	（同4件増）

です。

また、

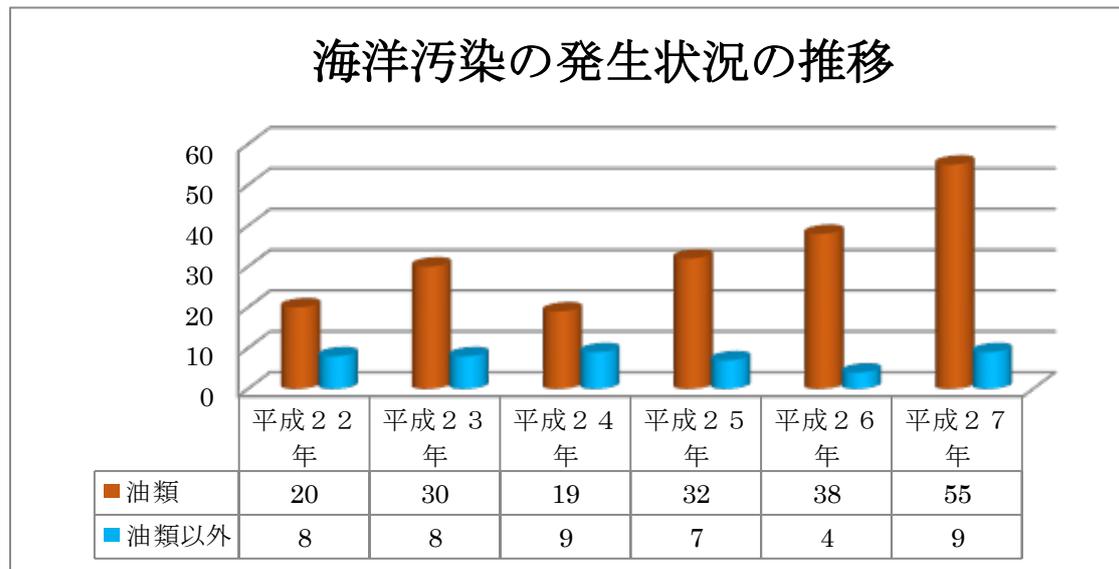
- ・ 海洋汚染の発生確認件数64件のうち、86%が油類による汚染
- ・ 排出源の特定に至った47件のうち、72%が船舶からの排出
- ・ 船舶からの排出は30%が海難、26%が故意、26%が過失による排出

となっています。

当管区では、海洋汚染を1件でも少なくするために、船舶からの排出については、海事関係者に対する海洋汚染防止に係る指導・啓発及び海難防止運動を引き続き推進するとともに、悪質なものに関しては、取締りを強化します。

また、陸上からの排出等については、関係機関、自治体等との連携を進めていきます。

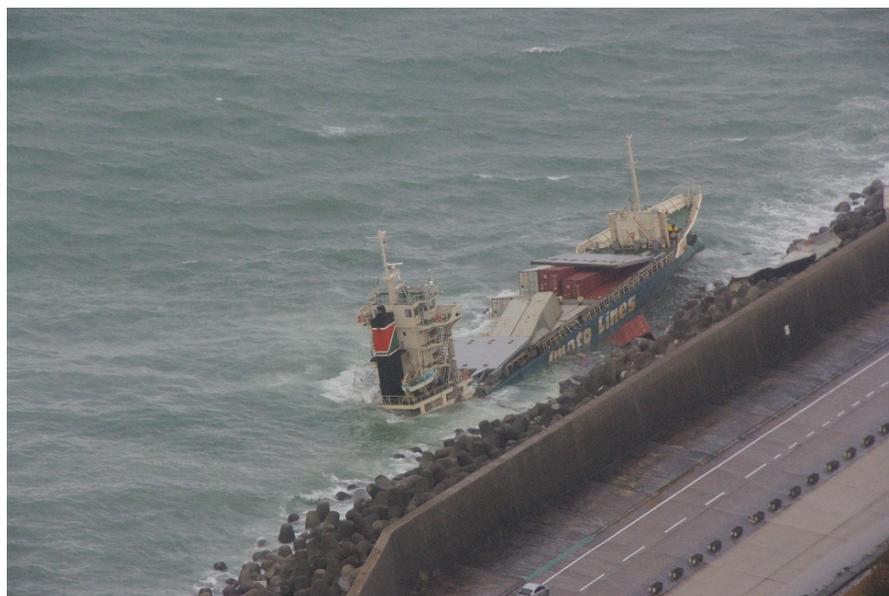
海洋汚染の発生状況の推移

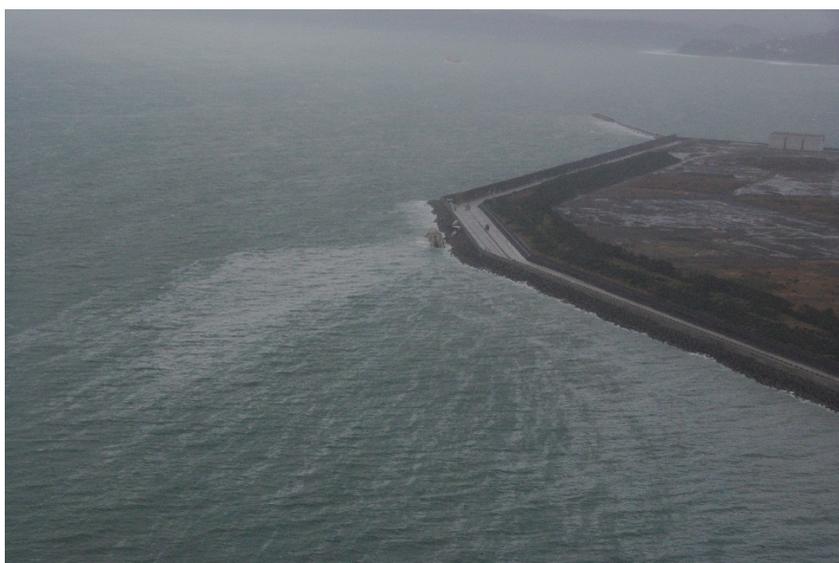


1 平成27年の海洋汚染の主な事例

(1) 船舶からの油の流出

平成27年12月11日午前3時過ぎ、和歌山下津港外で錨泊中のコンテナ船が折りからの強風を受け、走錨し付近護岸テトラポットに乗揚げ、船体に亀裂等が生じ搭載していた燃料油（A重油等）が流出したものの。





(2) 陸上からの油の排出

平成27年12月19日午前9時過ぎ、高知県安芸郡で農業用ビニールハウスの所有者が、加熱用ボイラーの重油タンクに、燃料であるA重油約1000リットルを補給したが、同タンク横に設置されたもう1つの重油タンクに繋がる配管の末端が破損していたことに気づかなかったことから同所からA重油が流出したもので、流出したA重油は用水路を介して川に流れ込み、約1キロメートル離れた河口に達し、その後海域に至ったものである。



2 海上保安庁の今後の取組み

(1) 海洋環境保全の啓発指導・取締りの強化

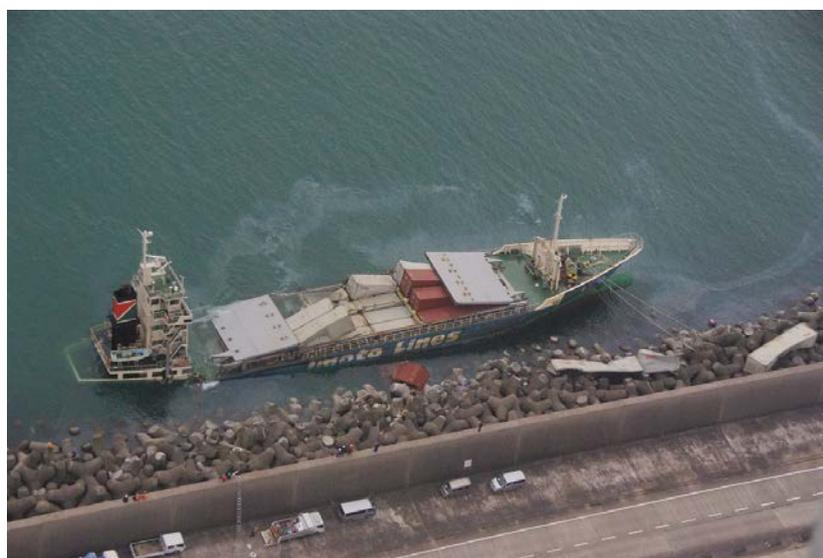
海洋汚染の防止のためには、船舶からの人為的要因（故意・過失）による油の流出を阻止することが重要であるため、海事関係者、漁業関係者等に対して引き続き、海洋環境保全の指導・啓発活動を展開しつつ、故意による悪質な排出に対しては、取締り等を強化し、海洋汚染の防止に努めます。

(2) 海難防止活動

海難に起因する船舶からの油の流出による海洋汚染が多数を占めることから、海事関係者、漁業関係者等に対して引き続き、海難防止を指導し、一度、海難が発生すれば甚大な海洋汚染を招くことを認識してもらい、海洋汚染の防止に努めます。

(3) 関係機関との連携

陸上で流出した油が川を流れ最終的に海に至るものや、河口、岸壁からの不法投棄など原因が陸上から発生するものについては、関係機関、自治体等と連携し各種企業等に対して、海洋汚染の現状を訴え、海洋汚染の防止の意識付け等対策の強化に努めます。



別添 統計資料

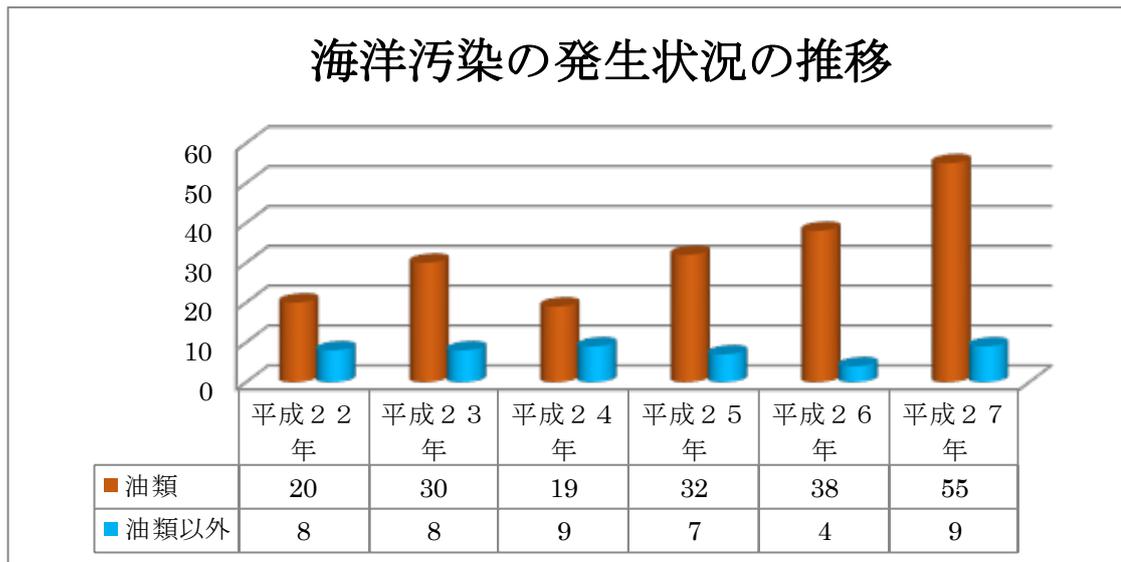
1 汚染物質別

発生確認件数 64 件を汚染物質別に見ると、油類による汚染が 55 件で前年 38 件に比べ 17 件増加し、全体の 86% を占めています。

油類以外による汚染は 9 件で前年 4 件に比べ 5 件増加し、全体の 14% を占めています。

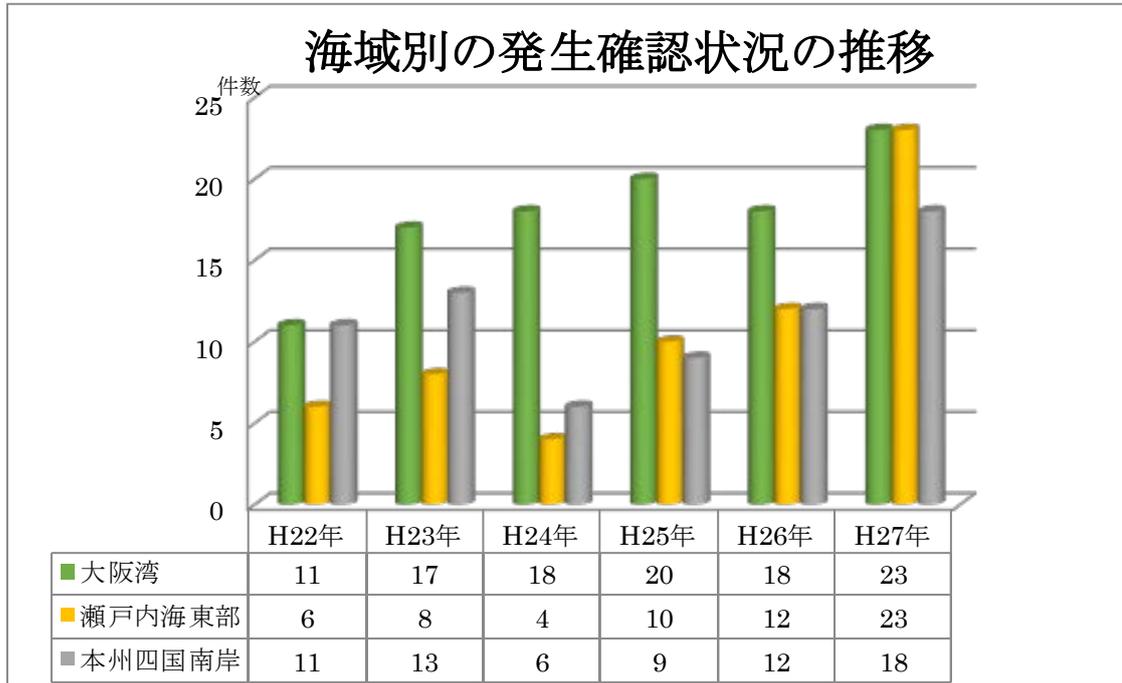
油類による汚染 55 件の内訳を見ると、重油系 14 件、軽油系 17 件、ビルジ 8 件、陸上廃油 5 件、不明 11 件です。

油類以外による汚染 9 件の内訳を見ると、一般廃棄物 5 件、有害液体物質 2 件、赤潮 2 件です。



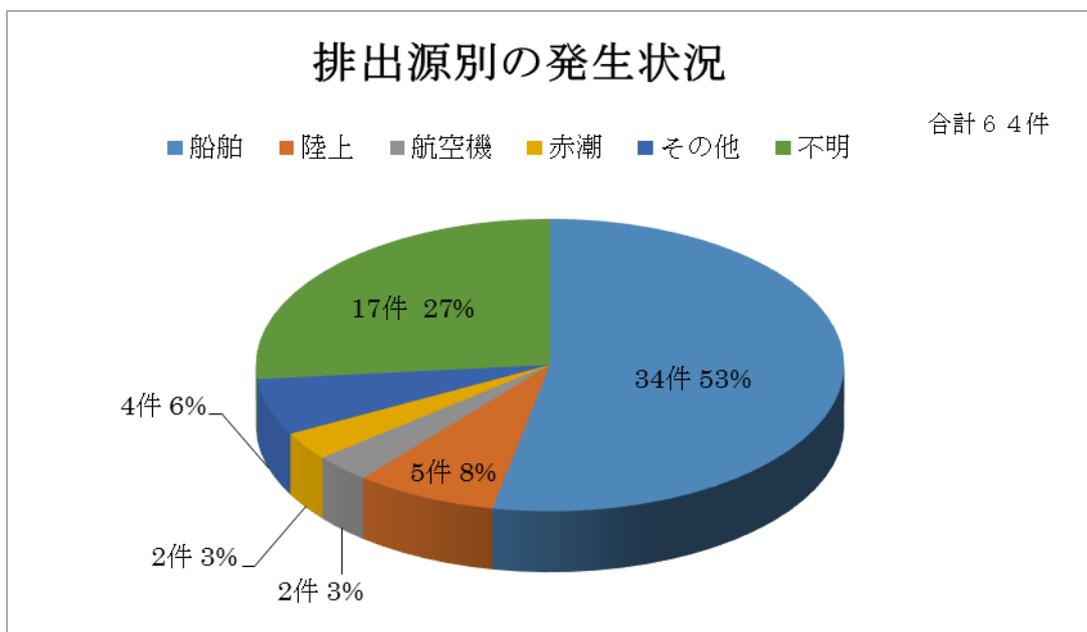
2 海域別

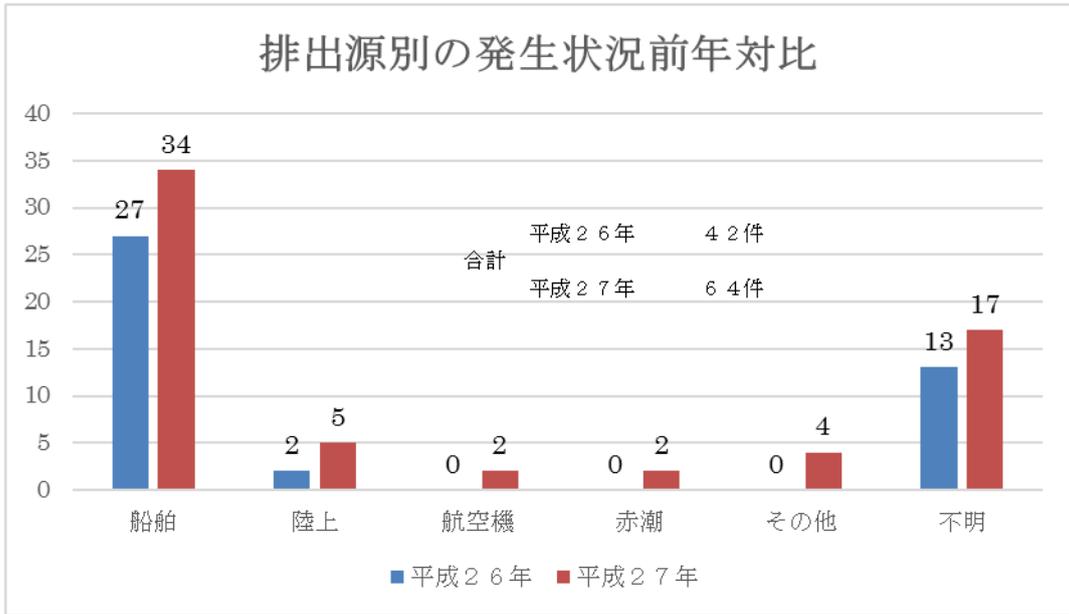
発生確認件数 64 件を海域別に見ると、大阪湾及び瀬戸内海東部が共に 23 件で全体の 36%、続いて、本州四国南岸 18 件で全体の 28% となっています。



3 排出源別

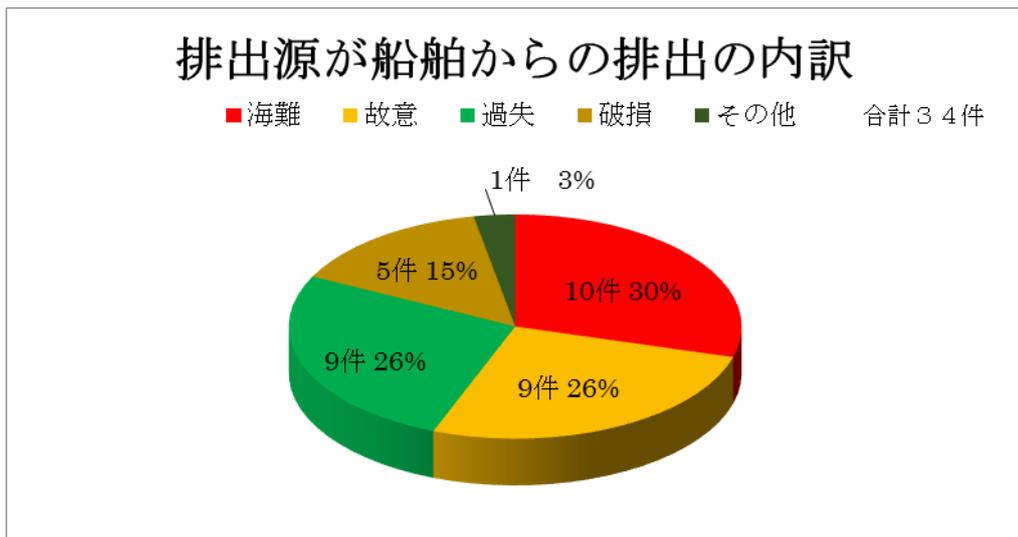
発生確認件数64件を排出源別に見ると、船舶からの排出が34件、続いて不明17件、陸上5件、その他4件（海中転落車両等3、ポリ容器1）、航空機2件、赤潮2件となっています。





4 原因別

排出源が船舶からの排出の34件を原因別に見ると、海難10件（衝突3、乗揚げ2、浸水3、転覆2）続いて、「過失」及び「故意」によるものが共に9件、破損等5件、その他1件となっています。



排出源が船舶からの排出の原因別内訳前年対比

